

令和3年度 県西地区春季大会 新型コロナウイルス感染症対策

【はじめに】

今大会における新型コロナウイルス感染症対策については、「令和3年度U12部会新型コロナウイルス対策ガイドライン」等を参照し、作成しております。なお、状況に応じて、本対策について見直すことがあることにご留意ください。

【選手・保護者・協議会理事・大会関係者】

1 感染対策責任者の設置

- ・参加チームは感染対策チーム責任者（以下、チーム責任者）を設置してください。
- ・県西地区連絡協議会（以下、当協議会）理事及び大会関係者は、総務委員長とする。
- ・対策責任者は理事長とする。

チーム責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

感染対策チーム責任者 → 地区理事 → 総務委員長 → 管轄保健所
→ 理事長 → 役員
→ 関係チーム・審判

チーム責任者は、大会2週間前にチーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。

感染対策チーム責任者 → 地区理事 → 総務委員長 → 理事長

2 体調チェックシートの記録と管理

- ・チームスタッフ、選手等、大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「体温チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。チーム責任者は管理を行ってください。
- ・体温測定は、選手・チームスタッフ・保護者・審判・関係者は必ず毎日実施してください。
- ※ 会場に入場する選手・スタッフ・保護者・役員等、全員の健康チェックシート兼参加承諾書と体温チェックシートの提出が必要になります。
- ※ 健康チェックシートにチェックがつかない場合、当日の体温が37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、地区理事まで御報告ください。
- ※ ご報告頂いた内容や相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。

3 体育館内に入場が出来る方々は以下の通りとする。

- ・名簿に登録された選手、コーチ、アシスタントコーチ、チーム関係者、マネージャー及び来場する保護者全員の「別紙1_大会参加承諾書&健康チェックシート」、「別紙2_チーム関係者名簿」を提出したチーム。
- ・大会役員、大会関係者は別紙1を各会場責任者に提出する。

4 参加者全員のマスクの着用をお願い致します。

5 検温の実施と各用紙の提出

- ・各会場で、体育館に入る際、検温の実施をいたしますので、役員の指示にしたがってください。
- ・各チーム責任者は、大会当日に「別紙1_大会参加承諾書&健康チェックシート」、「別紙2_チーム関係者名簿」を検温担当へ提出して下さい。（検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合があります）。検温をした後、体育館に入る事が出来ます。よろしくお願ひします。

但し、指導者及び役員は会場準備のため先に入場してもよい。その際は、別紙1を提出し、先に入る理由を説明し、検温して入館して下さい。

検温時は名札の着用をお願いします。

※名札を着用していないと入館できません。（役員、指導者は委員の名札、JBAコーチID、名刺等でも代用可）

・大会役員は別紙1を名簿担当がチェック後、返却してもらい（入館後の会場責任者に渡す）、検温して入館して下さい。

※一度、退館した後に再入館する際にも再度検温をして入館して下さい。

6 各用紙の確認

・各会場の事務役員は全チームの入館後、各用紙の確認を行う。

7 検温担当

・検温担当は事務役員のコーチ又は保護者2名で行う。但し、第1試合開始後は試合のないチームのコーチ又は保護者が行き、次の試合開始15分前に交代して行う。

また、2面展開で試合を行う会場については、AコートとBコートに分かれて検温を行うため、その際は競技審判役員のコーチ又は保護者2名で行う。

【参加資格】

1 選手、チームスタッフは大会2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

- ・平熱以上の発熱がある
- ・咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある
- ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある
- ・臭覚や味覚の異常がある
- ・体が重く感じる、疲れやすい等がある
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 上記に該当した際は、大会参加を取り消す場合があります。地区理事にご相談ください。

2 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の2つの条件が最低限揃うこと。

【重要】

- 1 大会へ参加するチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。
- 2 「上記【参加資格】の(1)」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であつたとしても出場資格を取り消す場合がある。
- 3 政府や県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発出された場合は大会を中止する場合がある。

※大会を中止する場合の要件

- ・緊急事態宣言中
- ・茨城県バスケットボール協会や茨城県スポーツ協会より実施不可の指示が出た場合
- ・U12部会長の指示が出た場合
- ・大会を実施するのに十分な練習期間が保てない場合
- ・茨城県コロナNextステージ4の場合

【個人情報の取り扱いについて】

本大会において記入いただいた個人情報については、当協議会が適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の

法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。

但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

本シートに記入いただいた個人情報については、1ヶ月間、当協議会 総務委員長が保管をし、その後、「シュレッダーによる破砕」等で破棄いたします。

【バスケットボールを行う上での感染対策】

- 1 いばらきアマビエちゃんに登録をお願い致します。
 - 2 マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
 - ・ 試合中ベンチのコーチ、アシスタントコーチ、保護者、またTO担当チームはマスクの着用。
 - ・ 試合終了後、選手は速やかにベンチをあとにして、指導者、保護者はベンチの消毒を行う。
 - ・ 試合終了後、TO担当チームは速やかにTO席をあとにして、TO主任はTO席、器具の消毒を行う。
 - ・ 試合前後または試合中にハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
 - ・ ベンチではマスクを着用し、応援・会話を控えてください。
 - ・ サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャルディスタンスを確保してください。
 - ・ 観客席では可能な限り密にならないようお願いします。
 - ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判とのあいさつは実施しません。
 - ・ タオルの共有はしない。
 - ・ ボトルのまわし飲みをしない。
- ※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われておりますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。
- 3 手指消毒液など、試合や練習でも広く使用できるように準備し、参加者/選手、コーチ、審判は頻繁に手洗いを実施する。
 - ・ 消毒液は主催者側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、試合終了後の観客席の消毒を実施してください。
 - ・ 使用する施設の用具器具、その他の備品も頻繁に消毒を行う。
 - 4 施設の利用時はアリーナの窓、ドアを開放し、観客席、選手及び保護者の待機場所等では周囲の人となるべく距離（1～2mを目安）を空ける。
 - 5 施設のトイレ等を使用した場合は、都度アルコール消毒の徹底を行う。
 - ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
 - ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
 - ・ 手指消毒液を設置する。
 - 6 そのほか、感染防止のために施設管理者（自治体）が決めたその他の措置の遵守、指示に従ってください。
- ※これら上記の対策を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。参加チームは、その点を理解した上で、今大会に参加をさせていただくと共に、関係者への周知を行ってください。

【大会期間中の留意点】

- 1 参加チームは、体育館に入ることが出来る人数を1チーム35名までと制限させていただきます。（例）選手15名、スタッフ（コーチ・アシスタントコーチ等）4名、保護者（応援者含む）16名・・・合計35名
各体育館でコロナ感染拡大予防のために、入場制限がされているため、各チームのご理解とご協力をお願いいたします。
- 2 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では

更衣室、ベンチ等、他のチームも利用する場所の消毒・除菌には十分留意してください。

※ ベンチ等、使用した箇所の消毒は各チームでお願いします。

- 3 TOはTO委員長の指示に従ってください。前後半での交代はしない。実施時には、マスク、フェイスシールドを着用。試合開始前後、クォーター間の手指の消毒を必ず行ってください。
- 4 MCはマスク、フェイスシールドを着用してください。
- 5 手拭き用のタオル等は各自持参してください。
- 6 会場内での食事は原則しないでください。
- 7 大会当日、施設は貸し切りではありません。他の利用者もおりますのでご理解ください。
- 8 大会中の観覧席からの応援につきまして、大きな声での声援はお控えください。

【感染対策責任者】 須賀 豊実

【感染対策委員】 倉持 陽子 小山 光弘 御厨 智彦 生井 真二 角田 大

〔感染防止チェックリスト〕

～参加者が遵守すべき事項～

□ 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる。

※該当する場合には利用ができない場合があります。

ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合

ウ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□ マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)

□ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

□ 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。)

□ 利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

□ 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。

利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

□ 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点として十分な距離を確保すること。

□ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

□ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。

□ 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

□ タオルの共用はしないこと。

□ 飲食については、熱中症等のリスクも踏まえつつ指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けること。また、飲食中の会話は控えめにすること。

検温の流れ（大会2週間前から）

〔2週間前～大会前日〕

・選手・スタッフ・保護者は健康状態に留意しながらそれぞれ健康チェックシートに記入し、チーム責任者が責任をもって管理する。

〔大会前日〕

・前日正午までに、選手・スタッフ全員の体調に問題がないことを、各地区理事に連絡。
※ 体調不良者がいる場合は、その旨を報告し、指示を仰ぐ。判断する際、体調不良者の行動履歴（いつまで練習していたかなど）が重要となるので、行動履歴を記録しておくこと。

〔当日〕

・各チームで集合し（試合会場とは別が望ましい）、チーム責任者又はスタッフが体温チェックシートを確認する。
・会場到着後は、用紙を名簿担当に提出し、記載内容を確認する。1チームごとに非接触型の体温計を用いて、再度体温のチェックを行う。

一日の流れ（チーム用） ※ 会場到着から退場まで

- ・会場以外の場所でチーム責任者又はスタッフが、体温チェックシートを確認する。



- ・会場に到着

※事前に会場到着時間を明記しますので、各チーム厳守してください。



- ・チーム責任者又はスタッフが名簿担当へ別紙1及び別紙2を提出し、検温を1チームずつ行います。（名簿に記載された順番で並んで下さい。その際ソーシャルディスタンスをとるよう心がけてください。到着したらチーム責任者が用紙を検温が開始される前に名簿担当に渡しておくことでチェックがスムーズになります。）



- ・指定された待機場所へチームで移動する。
- ・指定された場所でアップを行う。（各会場の指示に従ってください。）



- ・□分間の換気、消毒終了後、入場する。（プログラムの時間に合わせる）



- ・□分間コートでアップをして試合を実施。（ベンチではマスク着用、ハドル・円陣禁止、声出しは控える）



- ・試合終了。自チームのベンチを消毒する。



- ・TOが予定されているチームは必要人数のみ残ってTOを実施。TOメンバー以外は待機場所で待機してください。



- ・審判やTO主任以外のコーチ又はスタッフ、選手、保護者は試合終了後、待機場所及び観客席の消毒を行った後、速やかに帰宅する。